

## カンキツ新品種「熊本EC12」を育成

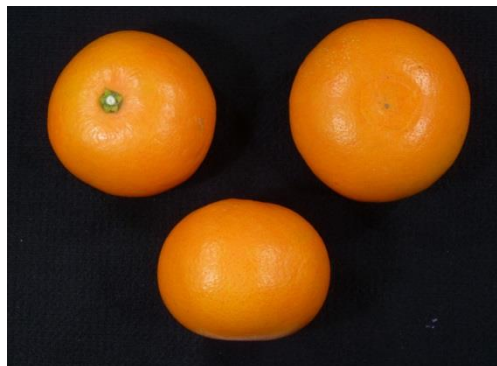


写真 1 説明



写真 2 説明

### 問 研究のねらいは？

答 本県では、需要の多い12月に成熟し出荷できる中晩柑類が加温栽培の「不知火」「肥の豊」および「みはや」等以外になく、生産者からは新しい品種開発に対する多くの要望がありました。

このような中で、12月に成熟し、高品質で食味が良く、栽培しやすいカンキツを育成しました。

### 問 特徴は？

- 答
- ① 収穫期(12月中旬)には露地栽培で糖度12以上と高く、クエン酸は1%以下となり、じょうのう膜は薄く、果肉も軟らかいため、食味は優れています。
  - ② 果実の大きさは250g程度で玉揃いは良く、果面は滑らかで赤鎧色を呈し、果実外観は良好です。
  - ③ 「不知火」等で問題となるクラッキングやこはん症等の果皮障害はほとんど発生しません。

### 問 栽培または普及するうえで注意する点は？

- 答
- ① 温暖で日照条件が良く排水良好な園が適します。
  - ② 周囲に異なる中晩柑が多いと種子が入ることがあります。また、かきよう病の防除は必要です。